

# 多度・城東まちづくり拠点、市民会館防災機能強化事業

**概要** 要: 三重県桑名市の避難所である市民会館に、太陽光発電設備及び蓄電池を整備。地震等による停電に対して、蓄電池が稼働し、避難所運営機能に貢献。

- 実施主体: オムロンソーシアルソリューションズ株式会社
- 実施場所: 三重県桑名市
- 事業概要: 三重県桑名市の避難所である市民会館(柿安シティホール)に、太陽光発電設備及び蓄電池を整備
- 事業費: 32,527千円

主な事業	実施内容	事業費	実施期間
防災機能強化事業	設備導入	32,527千円	R4
うち5か年加速化対策	設備導入	16,263千円	R4

## ■ 理論上最大クラスの南海トラフ地震による想定、効果発現見込み:

- ・災害外力想定: 最大震度7、市全域で震度6弱以上の揺れを想定
- ・被害想定: 上下水道や電力、通信等のライフラインは機能支障となる。発災当初の避難者数は約57,000人であり、避難生活者の数は1か月後においても、あまり減少することがなく長期化することが想定される。

商用電力が停電した場合でも、蓄電池より電力供給を行い、活動拠点施設としての機能を確保

## < 柿安シティホールにおける太陽光発電設備 >



指定避難所として多くの避難者の収容が可能

太陽光発電設備141.36kW、蓄電池16.4kWhを導入

### 効果見込み

- 商用電力が停電した場合でも、蓄電池の電力で避難所の照明が使用できるほか、コンセントを避難者に開放
- 事務室のパソコンにも電源供給し、避難者への情報提供に寄与

